

問題①

次の資料に基づき、完成品原価、月末仕掛品原価、月初仕掛品原価、当月標準製造費用を計算してください。

【標準原価カード】

標準直接材料費：@100円(標準単価)×15kg(標準消費量)=1,500円

標準直接労務費：@150円(標準賃率)×4時間(標準直接作業時間)=600円

標準製造間接費：@200円(標準配賦率)×4時間(標準直接作業時間)=800円

【生産データ】

月初仕掛品 40個 (50%)

当月投入 260個

月末仕掛品 100個 (60%)

完成品 200個

解答①

次の資料に基づき、完成品原価、月末仕掛品原価、月初仕掛品原価、当月標準製造費用を計算してください。

【標準原価カード】

標準直接材料費：@100円(標準単価)×15kg(標準消費量)=1,500円

標準直接労務費：@150円(標準賃率)×4時間(標準直接作業時間)=600円

標準製造間接費：@200円(標準配賦率)×4時間(標準直接作業時間)=800円

【生産データ】

月初仕掛品 40個 (50%)

当月投入 260個

月末仕掛品 100個 (60%)

完成品 200個

【生産データボックス】

40 (20)	200 (200)
260 (240)	100 (60)

【解答】

完成品原価：580,000円

月末仕掛品原価：234,000円

月初仕掛品原価：88,000円

当月標準製造費用：726,000円

問題②

次の資料に基づき、直接材料費差異、直接労務費差異、
製造間接費差異を計算してください

【標準原価カード】

標準直接材料費：@100円(標準単価)×15kg(標準消費量)=1,500円

標準直接労務費：@150円(標準賃率)×4時間(標準直接作業時間)=600円

標準製造間接費：@200円(標準配賦率)×4時間(標準直接作業時間)=800円

製品1個あたりの標準原価：2,900円

【生産データ】

月初仕掛品 40個 (50%)

当月投入 260個

月末仕掛品 100個 (60%)

完成品 200個

【生産データボックス】

40 (20)	200 (200)
260 (240)	100 (60)

【実際原価データ】

直接材料費：400,000円

直接労務費：155,000円

製造間接費：200,000円

解答②

次の資料に基づき、直接材料費差異、直接労務費差異、
製造間接費差異を計算してください

【標準原価カード】

標準直接材料費：@100円(標準単価)×15kg(標準消費量)=1,500円

標準直接労務費：@150円(標準賃率)×4時間(標準直接作業時間)=600円

標準製造間接費：@200円(標準配賦率)×4時間(標準直接作業時間)=800円

製品1個あたりの標準原価：2,900円

【生産データ】

月初仕掛品 40個 (50%)

当月投入 260個

月末仕掛品 100個 (60%)

完成品 200個

【生産データボックス】

40 (20)	200 (200)
260 (240)	100 (60)

【解答】

直接材料費差異：10,000円 (不利差異)

直接労務費差異：11,000円 (不利差異)

製造間接費差異：8,000円 (不利差異)

【実際原価データ】

直接材料費：400,000円

直接労務費：155,000円

製造間接費：200,000円

問題③

次の資料にもとづき、直接材料費差異を計算し、
価格差異と数量差異に分析してください。

【標準原価カード】

標準直接材料費：@100円(標準単価)×2kg(標準消費量)=200円

【生産データ】

月初仕掛品 40個 (50%)
当月投入 260個
月末仕掛品 100個 (60%)
完成品 200個

【生産データボックス】

40 (20)	200 (200)
260 (240)	100 (60)

【実際原価データ】

直接材料費：@110×670kg=73,700円

解答③

次の資料にもとづき、直接材料費差異を計算し、
価格差異と数量差異に分析してください。

【標準原価カード】

標準直接材料費：@100円(標準単価)×2kg(標準消費量)=200円

【生産データ】

月初仕掛品 40個 (50%)
当月投入 260個
月末仕掛品 100個 (60%)
完成品 200個

【生産データボックス】

40 (20)	200 (200)
260 (240)	100 (60)

【実際原価データ】

直接材料費：@110×670kg=73,700円

@110
実際単価

@100円
標準単価

差異分析図

価格差異 6,700円 (不利差異)
数量差異 15,000円 (不利差異)

520kg
標準消費量

670kg
実際消費量

問題④

次の資料にもとづき、直接労務費差異を計算し、
賃率差異と時間差異に分析してください。

【標準原価カード】

標準直接労務費：@150円(標準賃率)×4時間(標準直接作業時間)
=600円

【生産データ】

月初仕掛品 40個 (50%)
当月投入 260個
月末仕掛品 100個 (60%)
完成品 200個

【生産データボックス】

40 (20)	200 (200)
260 (240)	100 (60)

【実際原価データ】

直接労務費：@160円×1,000時間
=160,000円

解答④

次の資料にもとづき、直接労務費差異を計算し、
賃率差異と時間差異に分析してください。

【標準原価カード】

標準直接労務費：@150円(標準賃率)×4時間(標準直接作業時間)
=600円

【生産データ】

月初仕掛品 40個 (50%)
当月投入 260個
月末仕掛品 100個 (60%)
完成品 200個

【生産データボックス】

40 (20)	200 (200)
260 (240)	100 (60)

【実際原価データ】

直接労務費：@160円×1,000時間
=160,000円

@160円
実際賃率

@150円
標準賃率

差異分析図

賃率差異 10,000円 (不利差異)
時間差異 6,000円 (不利差異)

960時間
標準直接作業時間

1,000時間
実際直接
作業時間

問題⑤

次の資料にもとづき、製造間接費差異を計算し、予算差異、操業度差異、能率差異に分析してください。
なお、製造間接費は直接作業時間を配賦基準とし、能率差異は変動費と固定費からなるものとする。

【標準原価データ】

標準製造間接費：

@800円(標準配賦率)×4時間(標準直接作業時間)=3,200円

【生産データ】

月初仕掛品 40個 (50%)
当月投入 260個
月末仕掛品 100個 (60%)
完成品 200個

【生産データボックス】

40 (20)	200 (200)
260 (240)	100 (60)

【実際原価データ】

製造間接費発生額：950,000円
直接作業時間：1,000時間

【公式法変動予算】

変動費率：@300円
固定費予算額:550,000円
基準操業度:1,100時間（直接作業時間）

解答⑤

次の資料にもとづき、製造間接費差異を計算し、予算差異、操業度差異、能率差異に分析してください。

なお、製造間接費は直接作業時間を配賦基準とし、能率差異は変動費と固定費からなるものとする。

【標準原価データ】

標準製造間接費：

@800円(標準配賦率)×4時間(標準直接作業時間)=3,200円

【生産データ】

月初仕掛品 40個 (50%)
 当月投入 260個
 月末仕掛品 100個 (60%)
 完成品 200個

【生産データボックス】

40 (20)	200 (200)
260 (240)	100 (60)

【実際原価データ】

製造間接費発生額：950,000円
 直接作業時間：1,000時間

【公式法変動予算】

変動費率：@300円

固定費予算額:550,000円

基準操業度:1,100時間 (直接作業時間)

